



# 恋愛物語

緑山ユカ

## 立ち止まったまま

---

変わり続ける都市（まち）の景色を  
立ち止まってただ見ていた  
一歩前に踏み出すことが  
君を失ってしまうようでこわかった  
もう君と出会ったあの時の僕に  
戻れないのはわかっている  
それでもまだ君を隣でみつめていたい

いつになったらちゃんと君と  
向かい合って話せるだろう？  
そう思ったまま時間だけが過ぎていった  
伝えたい言葉はたくさんあるのに  
沈黙から抜け出すことが出来ずに  
僕の心だけが止まっていた



あなたを初めて見たあの日  
私の世界が変わった  
目にうつるものの全てが  
キラキラと輝いて見えた  
あなたの笑顔を見る度に  
胸が張りさけそうだった

こんな思いがあるなんて  
今までの私には想像もつかなかった  
ただ、ただ  
あなたの笑顔が見てみたくて  
あなたの姿を目で追っていた

たとえあなたが私に気づかなかったとしても  
この思いだけは大切にしていきたい



この広い世界のどこかで  
君が同じ空を見上げているのなら  
この想いが君に届かなくても  
前を向いて生きていける



キミでいっぱい

---

今どこにいるの？ 何をしているの？  
聞きたいことがいっぱいあるのに  
キミに会えない  
そんな一日は いつもより長く感じるんだ  
こんなとき思うことはただ一つ

キミに会いたい  
キミに会いたい  
キミに会いたい

明日は会えるの？ どこに行きたいの？  
手に取った携帯電話の通話ボタン  
押すことが出来ない  
聞きたいことがいっぱいあるのに  
でも 本当はただ

キミの声が聴きたい  
キミの声が聴きたい  
キミの声が聴きたい

何を考えればいいの？ 何をすればいいの？  
キミのことを想う以外 ボクに何ができるの？  
この心はただ

キミでいっぱい  
キミでいっぱい  
キミでいっぱい

## 神様にお願い

---

あなたに会いたい  
隣を歩いていたい  
一緒に笑ってたくさん話をしたい  
くだらないことでケンカをして  
仲直りのキスをしたい  
手をつないでいたい

.....

神様 お願い  
彼を返して



## 星

---

夜空に輝く 数えきれなほどの星の中で  
気になる星を一つ見つけた  
力強く光っているわけではないけれど  
優しい光に包まれて

...

目が離せなくなった

きっとあれは一番星にはなれないけれど  
ひっそりと全てを見守っている  
そんな強さを持っている

その星を見るたびにキミのことを想う  
今のキミが  
あの時の強さを まだ持っていますように  
流れ星に願いをたくして  
ボクは目を閉じた





かなわないとわかっている  
結ばれないとわかっている  
それでも今だけは  
あなたの名前を呼んでいたい  
あなたの声を聴いていたい  
あなたの笑顔をみていたい



## 遠距離恋愛

---

いくら回数を重ねても  
慣れるようなものではないでしょう  
あなたと離れる その時はいつも  
とても寂しくなるもの  
またしばらくすれば 会えるのはわかっているの  
夜になれば声が聴けるのも わかっているの  
それでも この涙を  
止めることが出来ないのはなぜなの？  
電車の中でうつむいて 静かに涙を流しながら  
あなたから遠ざかって行く  
枯れることのないこの涙は  
どこへ流れていくのでしょうか？

あと もう少しで 君に会える

君に会えなかった時間は 決して無駄ではないけど

この 今の瞬間のために  
僕はここまで頑張ってきたんだ

君に会う この時間のために

近い将来 君と僕が  
二度と離れ離れにならないように  
僕は もっともっと頑張るから

君へのプロポーズはもう少しだけ  
僕の胸の中で 眠らせていよう

今日もあなたに会うことができた  
あなたの顔を見ることができた  
まだ あなたに話しかける  
そんな勇気はないけれど  
あなたを見ることができただけで  
今は十分 幸せです





## 君のために

---

君のためなら 僕はなんでもできる  
そう思っていたのは いつのことだろう

君といつまでも 一緒に歩いて行ける  
そう思っていたのは ウソではなかったんだ

君と僕との たくさんの約束  
もう永遠に 叶えることは出来ない

あの日 君を失ったあの時  
僕のすべてが変わってしまった

君のいない毎日は モノクロの無声映画のようで  
僕の世界は切れ切れのコマ送りのようだ

わかっているんだよ  
もうそろそろ 君のいない世界に慣れないといけないこと

わかっているんだよ  
僕が泣いていても 君が喜ばないこと

だから

君のために そして 僕のために  
一歩だけ前に進んでみることにした

毎日を笑って過ごせるようになるのは  
いつになるかわからないけど

